

公益社団法人私立大学情報教育協会
2021年度第4回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会、情報リテラシー・情報倫理分科会、分野別情報教育分科会

I. 日 時：令和3年8月24日（火） 14：00～16：00

II. 場 所：Zoom 会議室

III. 参加者：斎藤委員長、大原副委員長、笈委員、牧野委員、玉田主査、高岡委員、佐々木委員、
和田委員、金子委員、高橋委員、中西委員、山口委員、小原委員、松尾委員、児島主査、
角田委員、阿部委員、大久保委員、石川委員、渡辺トバ伊
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

情報活用教育コンソーシアムに掲載するコンテンツの整備について、各委員が作成した教材、教育方法、事例などの確認を行った。

- ・ 情報活用能力育成ガイドライン到達目標 C の変更点について、大会で説明することが確認された。
- ・ アルゴリズムとプログラミングの概要、授業内容等が提示され、大会で説明することが確認された。
- ・ モデル化とシミュレーション関連教材について、授業モデル、関連教材ビデオ、ワークシートが提示され、大会で説明することが確認された。
- ・ 実課題との関連でデータサイエンスの活用体験をさせる教材の例について、データ分析を活用した採用をテーマのシナリオが提示され、大会で説明することが確認された。
- ・ 社会科学（経営学分野）における情報活用能力育成教育の授業モデルについて、社会的な問題をテーマにシナリオが提示され、社会秩序の枠組みでどのように視点を持つべきかをソーシャルビジネスで考えてはどうかとの意見があり、更新したものを大会で説明することが確認された。
- ・ 初年次教育と専門科目を連携した情報活用教育「薬学分野」授業例として、医療人としての情報活用法としての態度を身につけた薬剤師を目指すモデルが提示され、大会で説明することが確認された。
- ・ 理系（機械工学）の社会で求められる情報活用能力育成教育のオンライン授業モデル案が提示され、大会で説明することが確認された。
- ・ オンライン授業と対面授業を組み合わせた授業運営の例（医療系）が提示され、大会で説明することが確認された。
- ・ オンライン授業と対面授業を組み合わせた授業運営の例（文系経済学）が提示され、テレワークを含む働き方改革と労働生産性を考えさせ、ネット時代の働き方提案をさせるモデルを確認し、当初は予定していなかったが、大会で説明することにした。
- ・ データ活用能力育成に向けた推進戦略では、意見交流会の実施や、学内でどのように問題を投げかけ議論できるようにするのか例を求めるなどの議論を考えるとどうか。
- ・ 大会の分科会 F では、上記モデル等の説明を各 5 分程度で進めることが確認された。
- ・ 家政系（被服学分野）の社会で求められる情報活用能力育成教育のオンライン授業モデル案が提示され、アパレル分野と環境の問題を考えさせ、SDGs への取組みを整理するモデルを確認し、この方向で検討を進めることにした。
- ・ 実課題との関連で AI（人工知能）の活用体験をさせる教材の例が提示され、AI の事例、AI の利用体験、AI 活用のメリットデメリットを確認し、社会での AI の関わり方を検討させる。また、AI を活用するために AI を使うところから AI を作る人とコミュニケーションが出来るレベルを目指すことが確認し、この方向で検討を進めることにした。
- ・ SNS 上で情報が広がる様子をモデル化・シミュレーションするモデル案が提示され、企業が SNS で新製品情報を発信し、どのように情報が拡散するかモデル化・シミュレーションを行わせる内容が確認され、学生が興味を持つと思われるシミュレート方法やクチコミの良し悪しなども考えさせるなどを含め、この方向で検討を進めることにした。
- ・ 情報活用教育コンソーシアムの運営は、情報活用教育コンソーシアム小委員会で進めるが、質問・課題等については、委員会全体で回答する方針を確認した。
- ・ 授業モデル等の完成コンテンツは全てコンソーシアム Web に掲載をすることにした。

VI. 今後のスケジュール

9月7日に開催する教育イノベーション大会の分科会F「データ活用能力育成に向けたモデル授業の推進」で報告を行うことにしている。